

友情ある説得（1956）

THE FRIENDLY PERSUASION

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 139分
初公開日 1957/01/04
公開情報 MGM=A A

【解説】

アライド・アーティスト作品としては超大作の部類に入るであろう、ワイラー自身のプロダクションによる、反戦的テーマを持った田園叙情編。彼の初めてのカラー作品でもある。主人公の農夫ジェス一家は敬虔なクエーカー教徒。好戦的なことは一切否定するはずが、ジェスは負けず嫌いの性格で、近所のサムとは日曜、それぞれの教会へ行く道すがら馬車競争をする習わしだ。妻イライザは毎度暴走する馬に困って、これを売り払うよう彼に頼むが、息子と出かけた女性経営の牧場でこっそり色香に悩まされた末、ジェスが手に入れた馬はサムの名馬をしのぐ早足だった。ユーモラスな描写いっぱい、非暴力に生きるクエーカー教徒の主張を紹介していく手並みが素晴らしく、後半の、南北戦争の火の手が自分たちの目前に迫って、やむなく従軍する息子の心境や、負傷した彼を救いに出たジェスの、撃つべきか撃たざるべきかの葛藤も共感をもって察することができる。実際、その段のワイラーの演出には力が籠もっており、メッセージが淀みなく伝わるのだ。深い年輪を刻んだクーパーの、人柄のにじむさりげない好演をはじめ、役者は皆すばらしい。これが本格デビューのパーキンスは作品の芯となる長男ジョシュを演じ、複雑な内面の芝居をデリケートにこなした。更に良いのが妻のD・マクガイアで、毅然としてユーモアを解し、愛情深く女らしさを失わない、文句のつけようのない妻、そして母を素直に演じている。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ワイラー	William Wyler	
製作	ウィリアム・ワイラー	William Wyler	
原作	ジェサミン・ウェスト	Jessamyn West	
脚本	マイケル・ウィルソン	Michael Wilson	
撮影	エルスワース・フレデリックス	Ellsworth Fredericks	
編集	ロバート・A・ベルチャー	Robert A. Belcher	
	エドワード・A・ビアリー・Jr	Edward A. Biery Jr.	
	ロバート・スウィンク	Robert Swink	
作詞	ポール・フランシス・ウェブスター	Paul Francis Webster	
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
出演	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper	ジェス・バードウェル
	ドロシー・マクガイア	Dorothy McGuire	エリザ・バードウェル
	アンソニー・パーキンス	Anthony Perkins	ジョシュ・バードウェル
	マージョリー・メイン	Marjorie Main	ハドスベス未亡人
	リチャード・エヤー	Richard Eyer	リトル・ジェス・バードウェル
	ロバート・ミドルトン	Robert Middleton	サム・ジョーダン
	フィリス・ラヴ	Phyllis Love	マティ・バードウェル

マーク・リッチマン

ウォルター・キャトレット

リチャード・ヘイル

セオドア・ニュートン

Mark Richman

Walter Catlett

Richard Hale

Theodore Newton

ジョーダン

クイグリー教授